

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書③

園名	西巣鴨・学びの保育園
活動日時	令和7年 8月 8日(金)
クラス名(年齢)	0歳児クラス
年間テーマ	光

### 1. 活動テーマ

<テーマ>

色と光

<テーマ設定理由(子どもの姿)>

カラーセロハンを通した景色をみた経験から、園にある透明のマグブロックでも眼鏡代わりにして楽しむ姿がある。また、ジュエルゴマも変わらず好きで反射を楽しむ姿があったため、自然光だけでなく懐中電灯の光でも反射を楽しめるようにした。

### 2. 活動スケジュール

室内で過ごす夕方の時間に、1歳児とマグブロックで眼鏡ごっこを楽しむ。保育室の電気を消してから懐中電灯を用いて反射した光に気づく。

### 3. 環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)


- ・広く眼鏡代わりにマグブロックをあてても安全な場所の確保
- ・懐中電灯とジュエルゴマ

### 4. 探求活動の実践

<活動内容>

明るい部屋で透明のマグブロックを用いて1歳児と遊ぶ。眼鏡ごっこが好きな1歳児と遊び、0歳児が真似をして色のついた景色を楽しむ。暗い室内では懐中電灯を使って保育室内の壁に色を投影し、その動きや色、輝きに興味を示す。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの声・姿	写真
<p>0歳児の真似をして嬉しそうに保育者に見せに来る。「お顔みえたねー」と喜びに共感する声掛けをしつつ、「みどりだね」「こっちは赤だね」と色の変化にも関心が向くようにした。</p> <p>部屋の電気を消したことでワクワクした様子で保育者のもとに集まる。ジュエルゴマにライトを当てると、普段の日差しよりも強く反射し、触ったり玩具で叩いたりして変化を確かめる。</p> <p>左の児がキョロキョロと周りを見渡し、反射した光がどこかに無いかを探す様子が見られた。</p> <p>反射した光がわかりやすいように、保育者がコマを壁際に移動させ、再度ライトを当てるとはっきりと反射の光が見える。自分でもやりたくなって保育者から懐中電灯を受け取り、真似して反射を楽しんだ。</p>	

### 5. 振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

職員会議で振り返りを行う。

年上児の真似をするのが好きな発達時期となり、なんでもやってみようとする姿があったので、異年齢ではあったがその広がり今回のテーマの光がちょうどリンクしていたので行うことができた。明るい部屋での眼鏡ごっこ、暗い部屋の中かでライトを使った活動、どちらにも興味を示していたので、次回は子どもたち自身が試しながらできる遊びを行いたい。

